

輝く命

HIKARE

～光れ～



新生会広報誌

vol.3

令和2年6月発行

<http://www.i-shinsekai.jp/>



社会福祉法人 新生会

1 社会福祉法人新生会 法人本部事務局

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割128番地1
電話：019-611-0242 FAX：019-611-0252

2 障害者支援施設 「新生園」

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割125番地
電話：019-697-6831 FAX：019-697-8248

3 障害者支援施設 「第二新生園」

〒028-3617
岩手県紫波郡矢巾町大字太田第17地割54番地
電話：019-697-8011 FAX：019-697-8013

4 医療型障害児入所施設 「みちのく療育園」

〒028-3623
岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第24地割1番地
電話：019-611-0600 FAX：019-611-0601

5 多機能型施設 「ワークセンターむろおか」

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割124番地
電話：019-697-6856 FAX：019-611-1666
エコレストランあいのの
〒028-3605
岩手県紫波郡矢巾町大字間野々第12地割50番地
電話：019-681-0304 FAX：019-681-0306

6 多機能型事業所 「あさあけの園」

〒028-3614
岩手県紫波郡矢巾町大字又兵衛新田第6地割17番地2
電話：019-697-6537 FAX：019-658-8538

7 相談支援事業所

「障害者地域生活支援センター しんせい」
電話：019-697-3300 FAX：019-601-2826
紫波地域障がい者基幹相談支援センター
電話：019-601-2805 FAX：019-601-2826
〒028-3614
岩手県紫波郡矢巾町大字又兵衛新田第6地割17番地2

8 共同生活援助事業所 「新生ホーム」

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割70番地9
電話：019-611-1199 FAX：019-611-1199



新生会は創立37年目を迎えました。

理念「輝く命」のもと、基本方針は①人権の尊重、②四者一体での運営、③倫理の確立、④地域生活支援の活動強化の4つです。

障がいのある方一人一人の尊厳を重んじ、その尊厳にふさわしい生活の保障を経営の基本に据えて、地域の障がい者福祉の拠点として一層活動を推進いたします。

基本的な事項と推進項目

1 人権の尊重、サービスの質の向上と施設住環境の整備

- 第三者サービス評価機関評価結果による改善の実施
- 利用者の方々のニーズ、ご家族の要望や運営協議会の提言を受け、福祉サービスの質の向上・多様化への対応
- みちのく療育園増床による体制の整備
- グループホームの新築、女性利用者の受け入れ
- 施設の空調や水回りなど大規模改修整備

3 総合的な人事管理、働きがいのある職場づくり

- 職員が活躍できる職場環境の整備、働き方改革をみすえた職員処遇の改善
- 人材育成制度の充実、人材確保に向け就職支援事業者の活用
- 広報誌・ホームページ等による情報発信の拡充
- 資格取得の奨励、研究会や各種研修会の実施、充実
- 業務改善提案など職員による経営・運営への参画

2 地域福祉推進のための、関係者・関係機関との連携

- 「やばば生活支援ネットワーク事業」の実施(買い物支援など)
- 「IWATE あんしんサポート事業」の実施(生活困窮者支援など)
- 災害時福祉避難所の体制づくり
- 基幹相談支援センター運営の充実
- 児童生徒の見学、体験学習や実習生等の受け入れによる啓発活動、育成活動

4 コンプライアンスの徹底と公正適正な業務の推進

- 役職員のコンプライアンス徹底のため相互牽制機能の充実(税理士、社会保険労務士等外部機関の活用)
- 虐待防止チェックリスト、ハラスメントチェックリスト等による日常点検の実施
- コンプライアンスに関する研修の充実
- 法令改正に対応した規則規程の整備

社会福祉法人新生会

「新型コロナウイルス対策会議」開催

感染の状況によって、政府、県の対応は毎日変化しています。

政府や県の対処方針に基づき、新生会の対応も変えていくこととなりますので、たびたび会議を開催しています。

- ▶ 当面の方針
- ▶ 「県内に感染者が発生していない段階」
- ▶ 「県内に感染者が発生した段階」
- ▶ 「法人内事業所で感染者が発生した段階」

想定される各段階での対応方法について確認する作業を行っています。特に、入所の施設があることから、感染対策に細心の注意をはらっています。

1 当面の方針

- (1) 新型コロナウイルスの感染防止に最大限努力、可能なサービス提供を継続する。
- (2) 感染が拡大する事態には想定に即ちて初期対応を行う。
- (3) 感染者が発生した場合には国、県、自治体の通知に従って適切に対応する。
- (4) 県庁からサービス自粛または中止の要請があった場合はそれを優先する。
- (5) 各事業所特有の検討事項については、段階において必要な判断・対応を行い、本部に報告する。
- (6) 感染の発生および対応に関する情報は、緊急時に対応会議を開催する。

2. 想定される各段階での対応

対応の段階	法人本部	新生園	第二新生園	みちのく療育園	新生ホーム	ワークセンター みちのく	あきあきの園	しんせい														
I 『感染未確認地域』の段階 【県内に感染者が発生していない段階】	【方向性】 国ならびに地方自治体からの通知、情報および新生会「新生会新型コロナウイルス対策方針」により、感染防止に精進																					
	対応：(1) 通常の感染防止対策を強化し、実施に努める。 (2) 利用者・職員（家族を含む）の不安不安の解消の協力を受ける。 (3) 就業時間の終了（5時）までは、行方、外出、面会、保護者等との連絡は受け付ける。（入所利用者等の連絡は実施） (4) 利用者・職員（家族を含む）が県外へ外出を行う場合は、当該施設へ届け出る。また、戻ってから14日間は利用あるいは勤務を見合わせる。 (5) 感染事例 ① 感染風から職員へ不要不急の外出自粛の協力を依頼する。 ② 利用者・家族等に、当面の対応に関する文書を発表する。 ③ 子どものいる職員について、預け先確保の可能なほかの再調整を行う。 ④ 養生用品・感染防止に必要な施設の確保、および緊急時対応の準備に努める。 ⑤ 入所施設では感染の発生、通所利用者との接触防止について具体的な検討する。																					
II 『感染確認地域』の段階 【県内に感染者が発生した段階】	【方向性】 利用者および職員（家族を含む）に濃厚接触者の有無を把握しながら可能な範囲でサービス提供を継続																					
	対応： <table border="1"> <tr> <th>【対応】</th> <th>【対応】</th> <th>【対応】</th> </tr> <tr> <td>1 情報収集</td> <td>1 入所事業との分限</td> <td>1 感染防止を考慮した相談事業の実施</td> </tr> <tr> <td>2 感染の状況把握</td> <td>2 接触者から職員への感染が疑われた場合 ⇒ 急遽を中止し、各自または家族の判断可能な利用者を受け入れる。</td> <td>2 周囲の状況把握と法人内への情報提供</td> </tr> <tr> <td>3 各施設に発生する問題事象への対応と調整</td> <td>3 検査の提供ができなくなった場合 ⇒ 時間を短縮して利用者を受け入れることも検討する。 ⇒ 通所事業の休止も有り得る。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 対応会議の開催</td> <td>【対応】 感染防止 継続の可否は段階にて判断</td> <td></td> </tr> </table>								【対応】	【対応】	【対応】	1 情報収集	1 入所事業との分限	1 感染防止を考慮した相談事業の実施	2 感染の状況把握	2 接触者から職員への感染が疑われた場合 ⇒ 急遽を中止し、各自または家族の判断可能な利用者を受け入れる。	2 周囲の状況把握と法人内への情報提供	3 各施設に発生する問題事象への対応と調整	3 検査の提供ができなくなった場合 ⇒ 時間を短縮して利用者を受け入れることも検討する。 ⇒ 通所事業の休止も有り得る。		4 対応会議の開催	【対応】 感染防止 継続の可否は段階にて判断
【対応】	【対応】	【対応】																				
1 情報収集	1 入所事業との分限	1 感染防止を考慮した相談事業の実施																				
2 感染の状況把握	2 接触者から職員への感染が疑われた場合 ⇒ 急遽を中止し、各自または家族の判断可能な利用者を受け入れる。	2 周囲の状況把握と法人内への情報提供																				
3 各施設に発生する問題事象への対応と調整	3 検査の提供ができなくなった場合 ⇒ 時間を短縮して利用者を受け入れることも検討する。 ⇒ 通所事業の休止も有り得る。																					
4 対応会議の開催	【対応】 感染防止 継続の可否は段階にて判断																					
III 『法人内事業所での「濃厚接触者」が確認された段階』もしくは『法人内事業所で「感染者」が発生した段階』	【方向性】 入所、共同生活援助事業（園）を除く事業の全面休止																					
	対応： <table border="1"> <tr> <th>【対応】</th> <th>【対応】</th> <th>【対応】</th> </tr> <tr> <td>1 情報収集</td> <td>1 入所事業・園</td> <td>1 感染防止を考慮した相談事業の実施</td> </tr> <tr> <td>2 感染の状況把握</td> <td>サービスの維持体制の確保 ⇒ 法人内職員の支援体制の検討</td> <td>2 周囲の状況把握と法人内への情報提供</td> </tr> <tr> <td>3 各施設に発生する問題事象への対応と調整</td> <td>【対応】 感染防止 継続の可否は段階にて判断</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 対応会議の開催</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>								【対応】	【対応】	【対応】	1 情報収集	1 入所事業・園	1 感染防止を考慮した相談事業の実施	2 感染の状況把握	サービスの維持体制の確保 ⇒ 法人内職員の支援体制の検討	2 周囲の状況把握と法人内への情報提供	3 各施設に発生する問題事象への対応と調整	【対応】 感染防止 継続の可否は段階にて判断		4 対応会議の開催	
【対応】	【対応】	【対応】																				
1 情報収集	1 入所事業・園	1 感染防止を考慮した相談事業の実施																				
2 感染の状況把握	サービスの維持体制の確保 ⇒ 法人内職員の支援体制の検討	2 周囲の状況把握と法人内への情報提供																				
3 各施設に発生する問題事象への対応と調整	【対応】 感染防止 継続の可否は段階にて判断																					
4 対応会議の開催																						



令和2年度 新生会 新入職員を迎えて

新規学卒者、経験者の採用を合わせて7名の職員を4月に迎えることが出来ました。

新規学卒者を多く採用したいため大学内説明会、合同企業説明会等に積極的に参加しました。

また、就職情報サイトを活用した採用活動では情報発信が有効で説明会の申し込みが多数ありました。

併せて、ホームページによる情報発信にも力を入れた結果が、新規学卒者の入職につながりました。

新生会を担う人材ですので今後、社会人として、職業人として多くのことを身に付けていただくため教育の充実に努めていきたいと思ひます。

辞令交付式



法人行事での業務体験



合同企業説明会に参加しました。



入職後、3か月を経過して…



新規学卒者対象フォローアップ研修



法人 役職員交流会にご招待



新規学卒者 日常業務の様子



増築棟 “始動” !!

快適な環境で、
東棟が活動しています



施設長 伊東 宗行

みちのく療育園では令和元年度に居住棟が増築され、「東棟」として活動していますので、近況を報告します。

一つは、時と共に増加する濃厚な医療とケアを必要とする利用者さんのための居室(病室)「たんぽぽ」14床が整備されました。従来、2, 3室に分散していた医療度の濃い入所(入院)利用者さんを1室に集約し、24時間寄り添う看護と治療が行われています。新しい居室内に個室も4人分あり、感染症防止対策に配慮されています。

二つに、当施設の開設当初から運営している児童発達支援と生活介護(障害者総合支援法による福祉サービス)・愛称「ぼかぼか」(1日定員5名以上)も「東棟」に移転し、明るく広く展望の良い素晴らしい環境になりました。

従来の居住棟は「西棟」と改称されていますが、居室等が改装され日常生活や療育活動に快適で余裕のあるスペースが出来ました。このように生活支援と医療の環境は改善され、利用される皆さんと現場に働く職員も共に快適な環境で日夜を過ごしています。



東棟

居室

『たんぽぽ』

たんぽぽ居室が完成し、医療的ケアを必要とする利用者様を中心に、より観察しやすく個々のニーズに対応しやすくなりました。個室も完備され、短期入所の利用者様にもよりよい看護や介護を提供できるようになりました。また、自然豊かな環境に囲まれ、リスやキツネ、タヌキにも出会うことができます。天気の良い日には、散歩にも出かけやすくなり、日光浴や気分転換にも最高の環境です。

環境が整ったことにより、より多くの体制が整ってきています。これまで以上に充実した園生活を送っていただけるように、職員一同で頑張っていこうと思っています。



音楽活動



ゲーム活動



トイレ



ひな祭り

東棟

通所

『ぼかぼか』

令和元年12月から、増築棟での通所活動がスタートしました。これまでは、活動スペースが狭く窮屈さを感じることも多くありましたが、とても明るく広々としたお部屋になりました。ハートやスヌーピー柄の壁紙は、利用者様以上に保護者様からも好評です。そして、念願叶い、通所用の浴室とトイレ等の設備も整いました。

日中活動では、季節の行事やゲーム、音楽活動等を表現豊かに楽しんでいます。

新たな環境で、これまで以上に充実した活動を提供できるよう、職員も気持ち新たに努力してまいります。感染対応の制限が緩和されましたら、お気軽に遊びに来て頂ければ幸いです。

令和2年度 スタートしました!!

施設入所支援事業

定員
40名

現在40名の利用者の方が入所されています。入浴や食事などの必要な生活支援を24時間体制で行っています。日中はそれぞれの事業を利用し活動されています。



生活介護事業

定員
70名

現在68名の方が利用されています。食事等の生活の支援と共に、音楽活動や創作活動、レクリエーション等の幅広い活動を行っています。



就労継続B型支援事業

定員
15名

現在14名の方が利用されています。受託作業を中心に、缶バッジ作り、野菜作り、裂き織り作業などに取り組んでいます。利用者の皆さん様々な作業に挑戦し頑張っています。

かき氷・焼き芋の出張販売も承っております。
お気軽にお問合せ下さい!!



短期入所事業

定員2名

日中一時支援

定員5名

多機能型事業所 あさあけの園

あさあけの園は、利用者さん35名(生活介護10名・就労継続支援B型25名)、職員11名で令和2年度をスタートしました。

“明るく・楽しく・元気よく”を心がけ、利用者さんと職員とが一緒になって歩んでいきたいと思っています。今年度もどうぞよろしくお願ひします。

《今年度も引き続き大切にしたいこと》

①利用者支援の充実…利用者の希望や悩みに寄り添い支援

★ 就労継続支援B型 ★



「毎日コツコツと」

作業室ではフルーツキャップ作りに力を入れています。折る・束ねる・詰める・運ぶ声をかけあいながらそれぞれが得意な工程に取り組んでいます。



「今年も始まりました」

毎年この季節に銀河農園さんのトマトを加工しています。東京の有名百貨店の定番商品「賢治の飲むトマト」として生まれ変わります。



します。

- ②就労支援の充実…工賃水準の維持・増額に努めます。
- ③安全安心な施設づくり…災害への備え、感染症対策をしっかり行います。
- ④地域貢献…地域のニーズに目を向け、応援します。
- ⑤持続可能な運営体制づくり…職員が働きやすく、働き甲斐を感じる職場づくりに努めます。

★ 生活介護 ★



「いつもありがとう」

大好きなお母さんへ心を込めてメッセージカード・折り紙でお花を作りました。

「うつらない!うつさない!」

自宅にあるハンカチや不要になった洋服を利用し手作りマスクに挑戦しました。手洗い・消毒・三密を避ける! 今後も徹底したいです。



〇〇があれば、なんでもできる!

何かにつけて「新型コロナウイルスの話題」に繋がってしまう昨今、ワークセンターむろおかも、例外ではありません。

お世話いただいている企業様からの受注も減ってしまっ…

でも、当園よりも、企業様の方がもっと大変なはず…
そうです!新型コロナウイルスに負けてはいられません。

世の中、不足が続いていたマスクを少しでもお手元に!

併せて、利用者さんの工賃に繋がれば…そんな想いで、職員が知恵と技術を結集して始めたマスクづくり。おかげさまでまとまったご注文をいただくこともできました。



3密とは無縁のオープンエア、広大なリンゴ農園での摘花作業も始まりまし、コロナ禍の中でも、途切れずに継続して頂戴しているお仕事もあります。

できることをまず一生懸命。



世の中、少しずつ緩和に向かった動きも見えています。新しい生活様式など、今まで以上に様々な変化があることと思います。

そんな中でも、不変で大切なものは皆さんの笑顔と元気。



元気があれば何でもできる! って誰かが言っていました。「〇〇があれば、なんでもできる!」それぞれできること、大切なことを〇〇に入れて、踏ん張りましょう。

令和2年度 重点事業について お知らせ

今年度、新生ホームは、法人(新生会)として、中島ホームの隣接地に「第二中島ホーム」を新築で建設いたします。賃貸契約の満了に伴い閉所するアンダンテ新田の移転先とする他、新規入居者を受け入れる予定です。

「第二中島ホーム」の定員は、10名(内1名は短期入所)であり、「日中支援型GH」及び「地域生活支援拠点」としての機能を整備する予定です。また、既存の中島ホームを含む周辺一帯の施設整備を計画しており、令和3年4月1日開所の予定で進めていきます。



新型コロナウイルス感染予防の関係で、しんせいの業務の相談、訪問、同行、各種会議等も4月以降、様々な制限がありました。訪問の自粛、会議の中止等々。しかし、6月に入り少しずつ通常の業務に戻りつつあります。先日、オンライン会議も経験しました。

そういった普段と異なる状況とともに、マスクやハンドソープ、消毒液の品薄の状況は、さらに不安を助長させてしまいます。こういった中、職員がこれまで築き上げてきた地域との関係性が支えてくれる出来事がありました。地域の清掃業者さんが除菌剤を寄付してくださいました。あさあけの園と分け合うとともに、「他の事業所さんにもお分けしたい」とのお話をいただき、地域の事業所のみなさんともさらに分け合うことができました。

しんせいの業務は連携が欠かせないお仕事です。今回の出来事で連携の大切さを改めて実感しました。



紫波町社協の主催 オンライン会議の様子です。



上段中央が除菌剤を寄付してくださいましたクリーンデザイン様です。



法人本部事務局

新任事務局長の金子^{かねこ}仁さんにあんな事、こんな事たくさん聞いてみました！！



Q ご出身は??

A 生まれは矢巾町ですが、現在は紫波町に住んでいます。

Q 家族構成を教えてください。

A 子供は三人(二男一女)と子だくさんです。みんな独立して、現在は妻と81才になる母、そしてミックス犬(♂7歳、3.5Kg)と暮らしています。

Q 趣味は何ですか。

A 何十年やっても上手くならないゴルフです。年齢とともに「チカラ任せに飛ばす」爽快感もなく、キャリアに伴うテクニックは元々なく、きれいなゴルフ場をひたすら歩くことに意義があると自分に言い聞かせています。

Q 好きな食べ物、嫌いな食べ物は??

A 家では文句を言わず(言えず)、何でも食べますが、飲み会では、『野菜類』を自分から注文することはありません。『肉食系』です。ドクターには『?』と言われますが、貝類OKなのに『ホタテ』アレルギーです。

Q 座右の銘は??

A 難しい質問です。場面によって自分に都合の良い言葉を使い分けています…。最近『為せば成る(、為さねばならぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり)』の心境です。

Q 新生会の印象は??

A 大きな職場だと思いました。関係施設が7施設あり、職員の方々が200人を超えていることに正直びっくりしました。そして、皆さん真面目です。例えば、新型コロナウイルス感染症予防対応では、(当然なのですが)福祉施設職員としての自覚とプライドを感じました。

Q 最後に皆さんに一言お願いします。

A 本部事務局勤務なので他施設の様子は正直、まだわからない部分が多いのですが、早く皆さんの仲間と思われるように、これからは本部事務局だけではなく、積極的に各施設にお伺いしようと思っていますので、(邪魔にせず)よろしくをお願いします。

ありがとうございました！！これから、本部のため、新生会のために遺憾なく力を発揮して頂けることでしょう。金子事務局長、これからもよろしくお願いいたします♪♪

新型コロナウイルスに 負けず頑張る

洗 濯 科

新生園の洗濯科はその名の通り、クリーニングの仕事に励んでいます。

皆さん本当に働き者です。そんな洗濯科も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、仕事が減ってしまう事態に。そして毎年恒例の春のお花見外出も今年は叶わずでした。しかし、そんなコロナストレスにも負けじと持ち前のパワーで毎日頑張っています。

洗濯科の利用者さんは皆、指示がなくともテキパキと動き、アイロン掛けやたたみ方に日々励んでいます。それはもうプロ並み！？同法人のみちのく療育園、第二新生園のシーツや包布もふたりで息を合わせて手作業で一枚一枚丁寧にたたんでいます。その数1日に250枚程にもなります。

仕事熱心な利用者さんたちですが、実はとてもユニークたっぷりです。いつも笑いが絶えません。やっぱり笑顔が一番です。その笑顔に職員も思わず笑顔になります。

みなさん、クリーニングのことならぜひ新生園にお任せください。お気軽にお問い合わせください。



一枚一枚丁寧に



息を合わせてたたみます



気分転換に散歩にも出ました



梱包作業

HIKARE ~光れ~ インフォメーション



岩手県共同募金会より令和2年度事業の助成をいただきました。

募金された皆様方に感謝しながら、障がいのある方々への就労支援のために有効に活用させていただきます。

ありがとうございました。

- 事業名／菓子製造機器整備事業
- 場 所／あさあけの園
- 助成額／195万円



当番 〇月〇日 せいちゃん

編集後記

「コロナ禍(か)」と言う文字をたくさん見かけます。「化」ではなく「禍(わざわい)」という漢字を当てはめています。なんとなく気持ちが下がるような気がします。

しかし！【禍を転じて福となす(わざわいをてんじてふくとなす)・・・災難や失敗を上手く利用し自分の有利になるように工夫すること】と言う先人の素晴らしい言葉もあります。まだ終息の先は見えませんが「コロナ禍」の中でも皆さまの日常生活が少しでも HIKARI 輝くもののように願っております。

広報誌3号では「新型コロナウイルス対策会議」の内容を紹介しております。利用者さんの「輝く命」を守るため職員一丸となって取り組んでおります。



11GキョクターSHHキョク